



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月8日

上場会社名 株式会社 リード
コード番号 6982 URL <http://www.lead.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 048-588-1121

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,474	4.1	32	43.7	68	22.3	60	25.0
2023年3月期第2四半期	2,376	33.7	56		87		80	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	23.55	
2023年3月期第2四半期	31.45	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,168		2,785			34.1
2023年3月期	8,177		2,599			31.8

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 2,785百万円 2023年3月期 2,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				15.00	15.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	0.4	100	29.0	120	41.6	100	45.9	38.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年9月30日現在の発行済株式数(自己株式を除く)を使用しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,632,960 株	2023年3月期	2,632,960 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	48,870 株	2023年3月期	60,370 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,576,864 株	2023年3月期2Q	2,572,590 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、個人消費や設備投資が持ち直し、景気は緩やかに回復しております。しかし、半導体をはじめとした部品・原材料の供給不足は緩和傾向にある一方、ロシアのウクライナ侵攻の影響によるモノやカネの流れの停滞や、為替の円安基調の継続によるエネルギーや原材料価格の高止まり等、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年同月比7月が8.0%増、同8月が6.3%増、同9月が26.7%増と増産が続いております。

このような経済環境の中で当第2四半期累計期間の売上高は、自動車用部品部門において、半導体供給不足の影響が緩和され、受注が増加したことや、電気料・原材料価格上昇に対する適正な価格転嫁対応も奏功し、2,474百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

損益面につきましては、電気料や原材料価格上昇等圧迫要因があったものの、人員配置の適正化や物流コストの効率運用等、生産性が改善したことに加え、適正な価格転嫁対応も奏功し、営業利益は32百万円と黒字を確保いたしました(前年同期比43.7%減なるも、2023年5月12日に公表した業績予想に対して、220.7%増)。

営業外収益は受取配当金13百万円、受取賃貸料19百万円、スクラップ売却益24百万円等により61百万円、営業外費用は支払利息19百万円等により25百万円を計上し、経常利益は68百万円(前年同期比22.3%減)と黒字計上いたしました。また、特別利益は受取保険金1百万円、特別損失は固定資産除却損3百万円等により4百万円を計上しました。その結果、四半期純利益は60百万円(前年同期比25.0%減)となりました。

なお、下記セグメント別業績のとおり、売上高の9割以上を占める自動車用部品部門は、売上高及びセグメント利益(経常利益)が増収増益であったのに対し、自社製品部門が減益となったことが、対前年同期比、増収減益となった主な要因であります。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、半導体供給不足の影響が緩和され、受注が増加したことや、電気料・原材料価格上昇に対する適正な価格転嫁対応も奏功し、2,352百万円(前年同期比7.5%増)となりました。

損益面につきましては、電気料や原材料価格の上昇があったものの、人員配置の適正化や物流コストの削減等、生産性が改善したことに加え、適正な価格転嫁対応も奏功し、セグメント利益(経常利益)は、84百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

②自社製品

当セグメント全体の売上高は、121百万円(前年同期比35.2%減)となりました。内訳としては、電子機器部門においては、一部受注品の生産終了や、スポット案件の減少等を主因とし、売上高は51百万円(前年同期比45.9%減)となりました。駐輪部門においては、官公庁等の大口案件が、工事遅延により完工が下期へスライドしたこと等により、売上高は69百万円(前年同期比24.1%減)となりました。

損益面につきましては、セグメント損失(経常損失)は30百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)7百万円(内電子機器部門はセグメント損失(経常損失)10百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)3百万円)、駐輪部門はセグメント損失(経常損失)20百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)3百万円))となりました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は、13百万円(前年同期比1.1%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前期末比8百万円減少し8,168百万円となりました。

・資産

流動資産は、電子記録債権が84百万円、仕掛品が25百万円、その他のうち立替金が31百万円増加し、現金及び預金が243百万円、受取手形及び売掛金が11百万円、その他のうち未収入金が60百万円減少したこと等から159百万円減少し3,079百万円となりました。

固定資産は、機械及び装置が10百万円、建設仮勘定が18百万円増加し、建物が36百万円、工具、器具及び備品が29百万円、リース資産が43百万円減少したこと等から有形固定資産は83百万円減少し4,050百万円となり、また、投資有価証券が226百万円増加したこと等から投資その他の資産は234百万円増加し1,037百万円となりました。その結果、固定資産全体では150百万円増加し5,089百万円となりました。

・負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が25百万円、短期借入金が97百万円増加し、未払金が85百万円、未払法人税等が28百万円、賞与引当金が45百万円、その他のうちリース債務が19百万円、未払消費税等が65百万円及び設備関係支払手形が13百万円減少したこと等から124百万円減少し2,630百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が15百万円、その他のうち繰延税金負債が67百万円増加し、長期借入金が119百万円、その他のうちリース債務が32百万円減少したこと等から70百万円減少し2,752百万円となりました。その結果、負債全体では194百万円減少し5,383百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が38百万円、第2四半期純利益が60百万円となり利益剰余金が22百万円増加し、また、その他有価証券評価差額金が154百万円増加したこと等から185百万円増加し、その結果、純資産額は2,785百万円となりました。これにより自己資本比率は34.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年11月7日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,578,062	1,334,505
受取手形及び売掛金	622,564	611,541
電子記録債権	406,335	490,565
製品	76,995	75,156
仕掛品	29,545	55,447
原材料及び貯蔵品	196,428	201,250
その他	329,283	311,171
貸倒引当金	△110	△60
流動資産合計	3,239,106	3,079,579
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,376,820	1,340,118
構築物(純額)	36,915	34,784
機械及び装置(純額)	454,201	464,989
車両運搬具(純額)	6,975	5,713
工具、器具及び備品(純額)	237,906	208,092
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産(純額)	345,178	301,918
建設仮勘定	17,707	36,628
有形固定資産合計	4,133,574	4,050,114
無形固定資産		
ソフトウェア	917	704
リース資産	1,320	600
無形固定資産合計	2,237	1,304
投資その他の資産		
投資有価証券	731,332	957,770
その他	74,071	81,222
貸倒引当金	△2,710	△1,340
投資その他の資産合計	802,694	1,037,652
固定資産合計	4,938,506	5,089,071
資産合計	8,177,612	8,168,651

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,181	409,415
短期借入金	1,337,297	1,434,365
未払金	655,874	570,722
未払法人税等	38,438	10,231
賞与引当金	65,000	20,000
その他	274,346	186,122
流動負債合計	2,755,138	2,630,856
固定負債		
長期借入金	1,850,440	1,731,020
退職給付引当金	61,647	76,836
資産除去債務	50,765	50,806
その他	859,787	893,538
固定負債合計	2,822,639	2,752,201
負債合計	5,577,777	5,383,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	211,245	214,385
利益剰余金	543,165	565,255
自己株式	△31,746	△25,698
株主資本合計	1,380,903	1,412,182
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	245,347	399,827
土地再評価差額金	973,583	973,583
評価・換算差額等合計	1,218,931	1,373,411
純資産合計	2,599,834	2,785,593
負債純資産合計	8,177,612	8,168,651

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	2,376,009	2,474,130
売上原価	2,031,370	2,121,403
売上総利益	344,639	352,727
販売費及び一般管理費	287,656	320,654
営業利益	56,982	32,073
営業外収益		
受取利息	51	49
受取配当金	10,716	13,737
受取賃貸料	19,980	19,980
助成金収入	25,056	570
スクラップ売却益	1,420	24,801
その他	2,676	2,281
営業外収益合計	59,901	61,419
営業外費用		
支払利息	23,548	19,702
賃貸費用	5,634	5,614
営業外費用合計	29,182	25,316
経常利益	87,701	68,176
特別利益		
投資有価証券売却益	12,481	—
受取保険金	—	1,704
特別利益合計	12,481	1,704
特別損失		
固定資産売却損	—	424
固定資産除却損	757	3,964
特別損失合計	757	4,388
税引前四半期純利益	99,425	65,492
法人税、住民税及び事業税	18,515	4,809
法人税等調整額	△5	3
法人税等合計	18,509	4,813
四半期純利益	80,916	60,678

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	99,425	65,492
減価償却費	230,088	209,189
株式報酬費用	-	2,297
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,760	△1,420
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,112	15,189
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,000	△45,000
受取利息及び受取配当金	△10,768	△13,786
支払利息	23,548	19,702
助成金収入	△25,056	△570
スクラップ売却損益(△は益)	△1,420	△24,801
投資有価証券売却損益(△は益)	△12,481	-
受取保険金	-	△1,704
有形固定資産除売却損益(△は益)	757	4,388
売上債権の増減額(△は増加)	△47,916	△73,314
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,997	△36,154
仕入債務の増減額(△は減少)	74,949	△43,347
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,770	△65,607
その他	23,188	△27,376
小計	351,191	△16,823
利息及び配当金の受取額	10,763	14,093
利息の支払額	△23,445	△17,631
助成金の受取額	46,689	10,263
スクラップ売却による収入	1,420	21,169
保険金の受取額	-	1,704
法人税等の支払額	△820	△28,088
法人税等の還付額	3,038	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	388,836	△15,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
投資有価証券の取得による支出	△3,982	△4,164
投資有価証券の売却による収入	20,901	-
有形固定資産の取得による支出	△193,948	△93,373
有形固定資産の売却による収入	-	29
無形固定資産の取得による支出	△465	△176
貸付けによる支出	-	△7,800
貸付金の回収による収入	1,337	1,077
保険積立金の積立による支出	△4,839	△4,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,995	△112,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,516	350,391
長期借入金の返済による支出	△493,604	△372,744
リース債務の返済による支出	△68,879	△58,592
配当金の支払額	△12,618	△38,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,585	△118,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	30,256	△246,556
現金及び現金同等物の期首残高	1,710,079	1,564,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,740,335	1,318,005

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。